

オートモルスーパーG



有機繊維を用いた超速硬コンクリートにより、道路橋RC床版の補修・補強工事における急速施工と床版耐久性の双方を実現することが出来ました。



特長

- 1 **高靱性** 曲げ・たわみ硬化特性 (DFRCC) を有する繊維補強コンクリートです。
- 2 **流動性** 粗骨材は13mm以下。棒状パイプや簡易フィニッシャーで鉄筋背面への充填が可能です。
- 3 **作業性** 汎用ミキサーで練り混ぜ可能。流動保持時間は40分。施工厚さは30mm以上。
- 4 **一体化性** 乾燥収縮が小さく既設コンクリートとの一体化性が良好です。
- 5 **早期開放性** 3時間で24N/mm²以上の強度を発現します。

物性試験 (測定例)

試験内容	材 齢	測定結果
可使用時間 (min)	—	45
単位容積重量 (g/cm ³)	—	2.29
圧縮強度 (N/mm ²)	3hr	38.2
	28日	64.7
静弾性係数 (KN/mm ²)	3hr	28.5
	28日	36.2
長さ変化率 (%)	28日	0.021
	91日	0.023
曲げ強度 (N/mm ²)	28日	9.21
曲げ靱性係数 (KN/mm ²)	28日	8.10

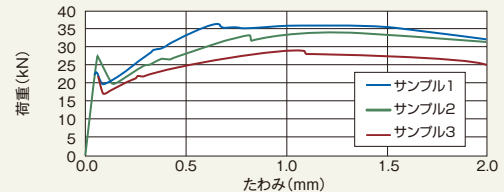
標準配合

品名	A材	B材	オートファイバーG	水	練り上がり量
数量	2袋	1袋	1袋(小)	—	30.5ℓ
重量	43.4kg	23.0kg	0.69kg	5.74kg	
数量	4袋	2袋	1袋(中)	—	61.0ℓ
重量	86.8kg	46.0kg	1.38kg	11.48kg	

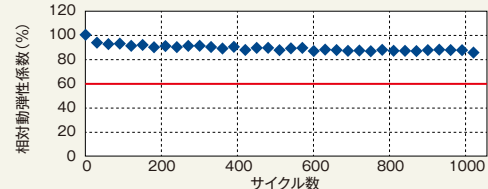
m³配合

品名	A材	B材	オートファイバーG	水	練り上がり量
数量	66袋	33袋	5袋(大)	—	1.0m ³
重量	1,430kg	759kg	22.7kg	189kg	

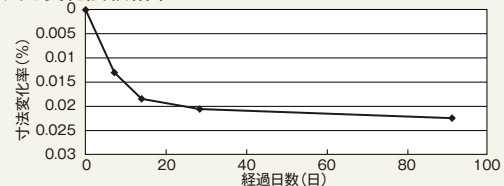
荷重-たわみ曲線



相対動弾性係数の変化



長さ変化試験結果



■ 施工手順

- 1 打設面の清掃、鉄筋の防錆処理を行い、エポキシ系プライマーを塗布する。
- 2 強制練りファイバーミキサーを用い、まずB材を入れ、続いてA材を入れ1分空練り。
- 3 ミキサーを稼働させながら所定量の水を入れて1分練り混ぜる。
- 4 ミキサーを一旦止め、オートファイバーGを入れ再びミキサーを稼働し2分間練り混ぜる。
- 5 ネコ車にコンクリートを受け所定の補修個所に流し込む。
- 6 棒バイブや簡易フィニッシャーを用いて鉄筋背面に充填させ表面をコテで均す。
- 7 連続して次工程に入らない場合は、養生剤(キープジョン)を噴霧する。



■ 管理基準

試験内容	管理値
練上がり温度	10~35℃
スランブ	12±2.5cm
空気量	2.5±1.5%
圧縮強度	24N/mm ² 以上(3hr)

■ 荷姿

品名	A材	B材	オートファイバーG		
			(大)	(中)	(小)
重量	21.7kg	23.0kg	4.55kg	1.38kg	0.69kg
内容	超速硬系モルタル	粗骨材(<13mm)	PP繊維		

接着剤/防錆剤/その他	断面修復材	超速硬モルタル/コンクリート	無収縮グラウト材
<p>吸水調整材 (固形分45%) キープジョンK-100</p>	<p>亜硝酸リチウム系防錆材 (40%水溶液) RM40S</p>	<p>断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス</p>	<p>セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス</p>
<p>打継ぎ用エポキシ樹脂 EP接着剤シリーズ</p>	<p>亜硝酸リチウム系防錆材 リペアペースト</p>	<p>超速硬 プレミックスコンクリート JCパック</p>	

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

	<h3>危険</h3>	<p>重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。</p>
<p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 ・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 ・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。 		<p>【応急措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。 ・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。 ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
<p>【保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部外者が触れないような措置をし、保管すること。 		
<p>【廃棄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 		
<p>本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。</p>		

<h3>注意事項</h3>	<p>【使用上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温が5℃以下の場合には施工を中止するか、保温状態をとれる環境で施工すること。 ・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。 ・本製品はセメント製品につき湿気・雨露や直射日光を避け、ハレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。 	<p>【カタログに関する注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。 ・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。 ・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。 ・本カタログは2015年7月に作成しました。
---------------	--	--

株式会社 **トクヤマ エムテック**
URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>



本社・東日本事業部	103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615	ERVIC人形町6F
中日本事業部	573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125	
中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202	
西日本事業部	861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1((株)熊本砂鉄業内) TEL 0968-53-9201 FAX 0834-62-7202	

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本砂鉄業(熊本)

販売店